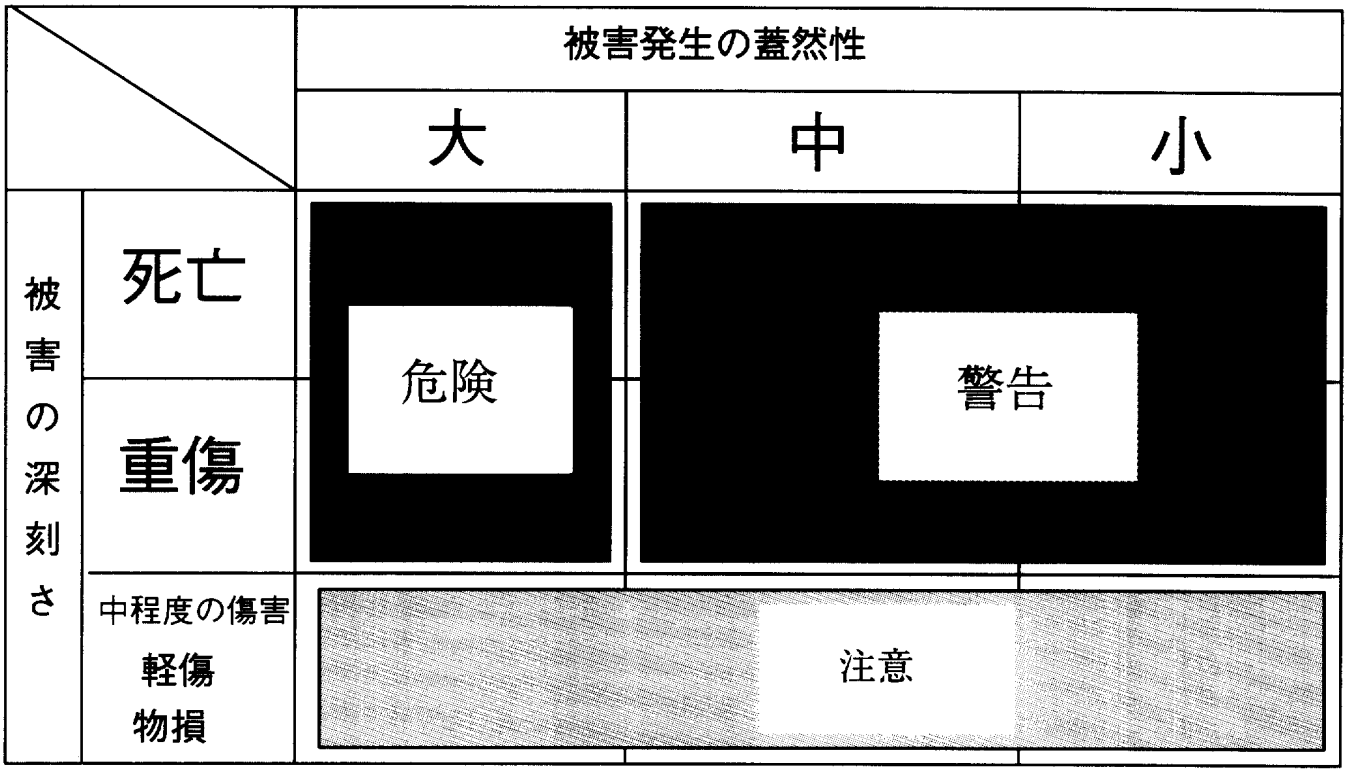
c) 危機の潜在する部分を覆ったカバー，又はその付近にコーションプレートをつける場合は，カバーを取り外した状況で発生する危機に対する評価結果でシグナルワードを決定する。

ただし，カバーが車載工具で外れない工夫がある場合は，シグナルワードを「注意」としてもよい。

9．2　被害の深刻さ　被害の深刻さは，取り扱いを誤った（守らなかった）場合に発生する可能性のある人身傷害を，「死亡」，「重傷」，「中程度の傷害・軽傷」の 3 段階で区分する。予見される人身傷害が複数の場合，より重大な人身傷害で区分する。

図１２　シグナルワード選定基準



10.　本規格の適用例　本規格の適用例として，被害の性質，被害の深刻さ，被害の予防方法，被害の蓋然性を示した例を**参考 1 表 1** に示す。

関連規格
- **JIS Z 8301**　規格票の様式
- **JIS Z 8304**　銘版の設計基準
- **JIS Z 8305**　活字の基準寸法
- **JASO B002**　コーションプレートの品質
- **JASO B502**　ダンプ車の荷台降下防止安全装置
- **ISO 9244**　Earth Moving Machinery－Safety Signs and Hazard Pictorials－General Principles.
- ~~**ISO 9204**~~
- **ISO 3864**　Safety Colors and Signs.
- **ANSI Z535**　Safety Sings.